



秋のチングルマ（爺ヶ岳） 写真提供：三木均 室長

地域連携室便り

愛媛県立中央病院
地域医療連携室

No. 18 (2021年11月)

直通TEL 089-987-6270 (前方連携)

089-947-1165 (後方連携)

FAX 089-987-6271

深秋の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

今回地域連携室便り No. 18 11月 を刊行致しました。気軽に読んでいただけるようにと考えておりますが、皆様方からのご意見を頂ければ幸いです。聞きたいこと・知りたいこと等、ぜひお知らせください。

この機会にぜひメール登録をよろしくお願いいたします。

今回の内容

- ① コロナ禍における医療連携懇話会の開催について
- ② 医療連携ネットワーク紹介：医療を紡ぐ - 媛さくらネット - 三木均
- ③ 腎不全患者を減らすための腎臓内科の取り組み 村上 太一
- ④ 第107回医療連携懇話会を終えて 佐川庸
- ⑤ ソウシンコラム その4 玉木みずね
- ⑥ 地域医療連携室からのお知らせ～メールのご登録のお願い～

① コロナ禍における医療連携懇話会の開催について

地域医療連携室

新型コロナウイルス感染症は落ち着きつつありますが、新型コロナウイルス感染症が拡大した令和2年4-7月、令和3年4-5月は医療連携懇話会を中止せざるを得ませんでした。しかし愛媛県立中央病院として、医療機関との相互交流や、医療連携レベルの向上のためにも情報発信を続ける必要性を感じ、三木室長指揮のもとWeb配信を開始しました。当初はトラブルが絶えませんでしたでしたが、最近はスムーズな配信が出来ており、好評をいただいております。

ハイブリッド配信を行っており、Webでの視聴人数も4人から始まり現在は30名程の参加を頂いております。さらにその日視聴が出来なかった場合にも、メール登録をして頂ければ、後日愛媛県公式YouTube限定公開のURLを配信させていただきます。公開期間が半年となっておりますので、ゆっくりご視聴いただくことも可能です。まだYouTube公開がタイムリーに出来ていない問題点を抱えては居りますが、今後も地域の先生方にタイムリーな情報発信が出来るようにしていきたいと考えております。この機会にメール登録をして頂きますようよろしくお願いいたします。

メール登録して頂くと
限定YouTube動画が
閲覧可能です！



②医療連携ネットワーク紹介：医療を紡ぐ - 媛さくらネット -

地域医療連携室長 三木 均

令和3年11月1日に医療連携ネットワークの運用を開始しました。松山圏域における基幹病院では、すでに複数施設に導入されており、医療連携ネットワークの利用環境は調いつつあります。当院では、NECの地域連携システム（ID-Link）を導入し、「媛さくらネット」と命名致しました。公開する医療情報データは本年11月1日から閲覧可能となっております。閲覧できる項目は、処方・注射・検体検査・病名・画像検査などです。患者さん単位の連携ではありませんが、本システムを活用することで、地域医療施設と更に強固な医療連携が構築できると期待しております。

放射線診断レポートは、閲覧開始時期が遅れますが、医療連携で画像診断を依頼されるケースを想定して、媛さくらネットの一利用例を紹介します。CTやMRIの画像診断を放射線科に依頼して頂くとき、地域医療連携室経由でご紹介して頂いております。現在の運用は、検査終了後、返書と共に放射線診断レポートと画像データ（CD/DVD）を患者さんにお渡ししております。今回紹介する「媛さくらネット」に登録頂いた医療機関では、画像診断依頼の紹介状と共に、患者さんの同意の上、「媛さくらネット」参加同意書を送って頂ければ、検査終了後直ちに画像を閲覧できます。放射線診断レポートは、閲覧が開始されれば検査当日中に閲覧が可能となります。「媛さくらネット」をご利用頂くことで、依頼元医療機関に患者さんが受診する前に上記の情報を得ることができます。他の公開項目も含めて、迅速な医療情報共有推進の一助となることが期待されます。来春には「サマリー」も公開項目に追加出来るよう、検証を進めております。関連病院の多くの先生に「媛さくらネット」を利用して頂けるよう、活用方法などの情報発信をしてまいりますので、宜しくお願い申し上げます。

以下、ホームページに掲載しております「媛さくらネット」の手続きなどを紹介致します。



すぐに活用できます！実際の媛さくらネットのお申込みは

CLICK
こちら



リンク先：愛媛県立中央病院のホームページ

媛さくらネットについて

当院では、患者さんの同意を得た上で、診療情報の一部を地域医療機関の先生方が閲覧できるネットワークシステム「媛さくらネット」を運用しております。

厳重な個人情報保護のもと、当院の診療情報をかかりつけ医の先生方が閲覧できることで、地域で一貫した医療を提供できるようになり、検査や投薬の重複を避けられることで医療費の負担削減にもつながります。



閲覧利用は無料

- ・インターネット環境が必要です。
- ・TLSクライアント証明書(電子証明書)または愛媛県医師会様のEMAネット経由(VPN接続)をご利用ください。

閲覧できる項目

- ・処方 ・注射 ・検体検査 ・病名
- ・画像 (放射線、エコー、生理検査)
- ・循環器動画

利用申込

媛さくらネットは、地域医療連携ネットワークサービス「ID-Link」を利用しています。

地域医療機関が利用申し込みされる際は、愛媛県立中央病院地域医療連携システム運用規程およびID-Link利用約款に同意の上、お申し込みください。

当院地域医療連携室に利用申込書(様式1)と利用者届兼誓約書(様式2)を郵送で提出し、併せてID-Link提供会社(NEC)との利用契約をお願いいたします。

利用申込の詳しい手順についてはこちらのファイルをご覧ください。

▶ [媛さくらネットの利用申込手続きについて\(PDF:450KB\)](#)



※電子証明書の発行は数日～1週間程度かかります。届いた電子証明書の設定、利用者アカウントの作成は各地域医療機関でお願いいたします。

■ 閲覧の流れ



1. 地域医療機関の先生方が、患者さんに参加同意説明書・参加同意書(様式6)・参加同意撤回書(様式7)を使用して媛さくらネットの利用について説明します。
2. 利用に同意した患者さんは、参加同意書へ署名します。記入した同意書のコピーを患者さんへ渡します。
3. 参加同意書の提出を受けた地域医療機関は当院地域医療連携室に同意書をFAXします。閲覧設定ができましたらご連絡いたします。

※媛さくらネットの参加同意は患者さんの意志でいつでも撤回できます。

■ 各種様式

利用にあたって

- > [運用規程\(PDF:213KB\)](#)
- > [利用マニュアル\(PDF:252KB\)](#)

利用申込関連

様式 1 利用申込書	様式 1 (Word:21KB)	様式 1 (PDF:493KB)
様式 2 利用者届兼誓約書	様式 2 (Word:18.3KB)	様式 2 (PDF:523KB)

申込変更関連

様式 3 利用者登録抹消届	様式 3 (Word:21.5KB)	様式 3 (PDF:391KB)
様式 4 登録患者削除申請書	様式 4 (Word:21.7KB)	様式 4 (PDF:448KB)
様式 5 利用中止届	様式 5 (Word:20KB)	様式 5 (PDF:444KB)

閲覧同意取得関連

様式 6 参加同意書	様式 6 (Word:24.4KB)	様式 6 (PDF:533KB)
様式 7 参加同意撤回書	様式 7 (Word:25.6KB)	様式 7 (PDF:478KB)
参加同意説明書		説明書(PDF:410KB)

- > [閲覧施設での参加同意書運用方法\(PDF:361KB\)](#)

■ お問い合わせ窓口

〒790-0024 愛媛県松山市春日町83番地
愛媛県立中央病院 地域医療連携室
電話番号：089-987-6270
FAX番号：089-987-6271

すぐに活用できます！
実際の媛さくらネットお申込みは

 [こちら](#)

③腎不全患者を減らすための腎臓内科の取り組み

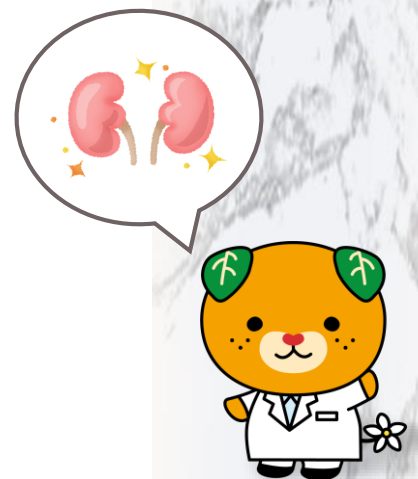
腎臓内科 主任部長 村上 太一

我々腎臓内科医は様々な腎臓病患者の診療に携わっています。腎臓という臓器は生体内で老廃物の排泄、水・電解質調節、酸塩基調節、赤血球造血、血圧調節等々、様々な役割を果たしています。しかし糖尿病や腎炎、高血圧といった様々な疾患が原因で腎臓は障害され、これらの原因が適切に治療されないと、次第に糸球体硬化や間質繊維化が進行し腎臓機能が低下してきます。最終的に腎臓機能が底をついた末期腎不全状態になると、ヒトは尿毒症で死に至ります。そのため末期腎不全患者は生きるために失われた腎臓機能の代わりをする透析治療や腎移植を受けていらっしゃいます。透析治療を受けている患者は国内で約34万人(2019年12月時点)ですが、透析患者予備軍ともいえる保存期の慢性腎臓病患者はさらに多く約1300万人と推定されています。加齢も腎機能低下の一因であり高齢化とともに腎臓病・腎不全のリスクが高くなります。こうした腎臓病の問題点は透析治療自体が患者の大きな負担になるだけでなく、腎不全進行とともに脳血管障害などの合併症が増え生命予後は悪化し、医療費も増大するといったことが挙げられます。

上記のような背景から、腎臓内科医の主な役割は腎臓が障害を受け機能が低下していく腎臓病患者に幅広く対応し、まずは腎不全進行を抑え、そして不幸にも末期腎不全となった患者には適切に腎代替療法を行うことです。特に腎不全を減らすためには、原因となる疾患の予防はいうまでもなく、腎障害の早期発見・診断、適切な治療介入による腎不全進行抑制が重要となります。具体的には腎障害の指標である血尿、蛋白尿などの尿所見異常、電解質異常、高血圧、腎嚢胞性疾患の鑑別・治療から始まり、実際に急性や慢性経過で腎機能が低下した症例ではその原因精査・治療、さらに腎不全進行に伴う症候・検査異常への対応、腎代替療法の導入(腎移植への橋渡し)、維持透析患者(血液、腹膜)治療等です。

愛媛県立中央病院腎臓内科は現在3人体制で外来、病棟、緊急対応、透析室を分担しています。外来は院内外紹介患者を含め30~50名/日の診察を行っています。腎炎、ネフローゼ症候群、急性腎障害では適応があれば腎生検を施行し(年間50~60例)、病理診断の結果で治療方針を決定します。保存期治療にも関わらず腎不全が進行してくると腎代替療法(血液・腹膜透析、腎移植)について詳しい説明を行い(療法選択外来)、自分にあった治療法を選択していただきます。年間で血液透析導入90~100例、腹膜透析導入5~10例、腎移植コンサルト5~10例程です。維持透析以外では急性腎障害や高カリウム血症、溢水、特殊な自己免疫疾患で血液浄化療法を行っています。また臨床業務以外にも研修医や医学部生の指導に重点を置き、入院患者担当に加え、血液透析穿刺や中心静脈カテーテル挿入などの手技、緊急患者初期対応などを経験してもらいます。また腎臓病についての講義を行うなど、少しでも腎臓病について理解を深めてもらえるような指導に努めています。

高齢化が進む日本では今後も腎臓病患者数は増加することが想定されます。しかし、当院のみならず愛媛県全体でも腎臓病専門医は希少であり、専門医だけで膨大な患者に対応することは困難な状況です。そのため、少しでも効率よく診療を進めるためには病診連携が極めて重要となります。かかりつけ医の先生方に糖尿病や高血圧、高脂血症、メタボリックシンドロームなどの基礎疾患をしっかりと治療していただき、そのうえで専門医と連携し腎臓病進行を少しでも抑制していくことが重要と考えています。



④第107回医療連携懇話会を終えて

副院長 佐川 庸

令和3年10月13日、第107回医療連携懇話会を開催致しました。各回テーマを決めて企画されますが、今回は日常診療において、どの診療科の先生方も経験されると思われる「先生、リンパ腺が腫れているんです！」という場面のために、とさせて頂きました。日頃先生方、co-medicalの方々が遭遇されているリンパ節腫脹に関して、3名の医師により診療科横断的にそれぞれの立場からお話をさせて頂きました。

演題1 非腫瘍性リンパ節病変の画像診断

放射線科 医長 横井 敬弘先生

演題2 リンパ節腫脹をみつけたらー血液内観の観点からー

血液内科 部長 森 正和先生

演題3 当院におけるリンパ節生検について

乳腺・内分泌外科 部長 畑地 登志子先生

演題1では、非腫瘍性リンパ節病変；感染性、肉芽腫性、その他に分類される様々な原因・原疾患が紹介されました。その際にはリンパ節以外の画像所見も注意して観察する。画像所見だけでなく、臨床所見を併せて総合的に判断することが重要である、とまとめられています。

演題2は、血液内科におけるリンパ節腫脹と血液疾患との関連に関して。

血液内科を標榜する施設へのリンパ節腫脹患者の過半数が悪性リンパ腫であったという報告も引用されました（某大学病院例）。リンパ節腫大の中で、生検の適応や生検が不要と思われる状態についても説明されました。その他、代表的なびまん性大細胞型B細胞リンパ腫に関してフローサイトメトリー像や生検組織標本を供覧し、解説がありました。

演題3は、わが乳腺・内分泌外科女性医師から病理診断に向かうリンパ節生検について。

リンパ節生検には細胞診・組織診（針生検・摘出生検）があり、それぞれの手技について解説させて頂きました。当乳腺・内分泌外科では対象疾患ががんの転移である場合が多いのですが、内科系診療科からの生検依頼にも対応しています。中には原発不明のリンパ節転移に対する組織診断によって原疾患の検索に役立つこともあります。最近の話題では、新型コロナウイルスワクチン接種後に接種側の腋窩リンパ節腫大（PET-CTではFDG集積も伴う）が認められ、乳癌診療における注意点である事が紹介されました。

講演内のQuestionと会場から頂いた質問を紹介します。

非腫瘍性リンパ節腫大の画像診断では、感染性、肉芽腫性その他など、よく経験する疾患か？—放射線読影医の習熟の中でそれらを経験する。一方で、放射線科医は臨床情報を併せて総合的に判断するため、診断依頼に際しては可能な限り詳細な病歴記載が望まれる。

血液内科からは「頸部・腋窩・鼠径部のリンパ節のなかで生検に適した部位は？」—できるだけ、頸部からが望ましい。

リンパ節生検として、細胞診と組織診（針生検）はどういうふうに使分けけるのか？—細胞診で良・悪性を診断することができます、あるいは炎症や悪性疾患の背景や場合によっては原疾患が推定されます。針生検はリンパ節転移や悪性リンパ腫（疑い）に対して行われ、組織診断としての評価を基に治療方針を立てるところまでの情報が得られます。

頸部や腋窩など、比較的大きな血管が存在する場所では、出血などのリスクはないか？—エコーガイドに穿刺することによって、安全に施行することができます。

今回の懇話会に関する外部参加者へのアンケート結果では、94%の方から「講演時間：ちょうどよい」というご回答を頂きました。内容に関しては83%から「理解できた」、「期待どおり」が61%、39%が「普通」という結果でありました。

この度の懇話会が、患者さんから「先生、リンパ腺が腫れているんです」という訴えがあった際のお役に立てれば幸いです。当院では、診療各科が協力する形で地域連携に対応させていただきますので、今後とも宜しく願い申し上げます。





⑤「ソウシンコラム その4」 総合診療科 副院長 玉木 みずね

～ 生活指導は難しい～

患者さんへの問診で、飲酒・喫煙、食生活、運動、休養などについてよく聞いていくと、健康問題を引き起こしている原因がしばしば見つかります。その場合、医師は生活指導を行うのですが、生活習慣が形作られたのはそれぞれ故があってのことですから、そう簡単には変えられません。お説教モードではまずダメなので、どうしたら行動変容につながられるか、患者さんの事情をよく聞いて実行可能な道を探ります。最近はハームリダクションという考えが出てきて、「完璧ではないけど、前よりはまし」いわば戦略としての妥協です。この考えを知ってから指導する時の余裕ができたように思います。

⑥地域医療連携室からのお知らせ

今後各種ご案内やお知らせ（医療連携懇話会案内・地域連携室だよりなど）はメール配信を推奨させていただきたいと考えております。他、県立中央病院ホームページのタイムリーな更新情報も順次配信予定です。メールでの配信を希望される医療機関様につきましては、お手数ですが、下記メールアドレスへ医療機関名を記載し、送信をお願いいたします。



<件名>メール登録（医療機関名）<本文>・医療機関住所、電話番号

E-Mail : c-renkei@eph.pref.ehime.jp

メールのご登録で…

医療連携懇話会の
動画配信が
ご覧いただけます！



動画配信
3つの
ポイント！



①
好きな
時間に



②
繰り返し
再生！



③
3密
回避



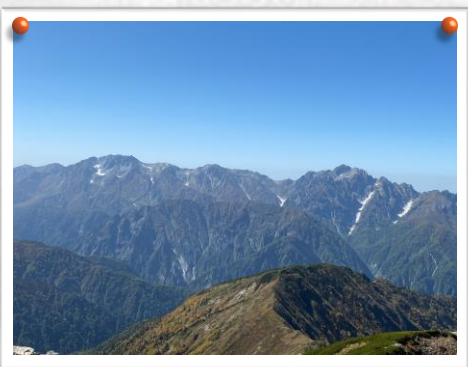
お問い合わせ : 愛媛県立中央病院 地域医療連携室 <担当>大矢根・渡部



TEL : 089-987-6270 FAX : 089-987-6271 E-mail : c-renkei@eph.pref.ehime.jp

次回12月号(No.19)は
12月中旬頃刊行の
予定です

楽しみに！



鹿島槍ヶ岳から望む剣・立山連峰 写真提供：三木均 室長